

令和5年度第1回南箕輪村持続可能な自治会検討委員会会議次第

令和5年10月30日(月)
午後7時から 役場講堂

<委嘱書交付>

1. 開 会

2. 村長あいさつ

3. 自己紹介

4. 持続可能な自治会検討委員会委員長の選出

委 員 長 _____

職務代理者 _____

5. 説 明

①持続可能な自治会検討委員会について(動画)

②持続可能な自治会検討委員会の目的と役割の確認

会議資料1

6. ワークショップ

自治会における重要課題の抽出(ワークショップ)・発表

会議資料2-1

会議資料2-2

7. 今後の開催予定及び目的・テーマ案

会議資料3

8. 次回の日程

日 時 11月22日(水) 午後7時

場 所 講堂

9. その他

10. 閉 会

持続可能な自治会検討委員会の目的と役割

1) 目的

現在、南箕輪村では、区や組の加入率低下、区役員の負担、役員の担い手不足など、様々な課題を抱えています。住民一人ひとりのライフスタイルや働き方は多様化し、区や組のあり方も大きく変わろうとしています。

持続可能な自治会検討委員会（以下、検討委員会という。）は、時代のニーズに即した区や組の在り方を検討し、10年先を見据えた持続可能な地域コミュニティをつくることを目的とします。

2) 役割

検討委員会では、行政協力業務、他団体依頼業務、自治会運営業務の3つについて検討します。検討委員会は、村行政（役場内各課）や自治会、関連団体等と連携を図り、区や組の実態を構造的に洗い出すとともに、今後の自治会の運営方針について検討する機関となります。



第1回持続可能な自治会検討委員会会議 プログラム (案)

| 作業プログラム | 時間 | プログラム内容 |
|--------------|------|---|
| ワークショップ開会 | | 2グループ |
| ① ワークショップの説明 | 10分 | 本日のワークショップの目的と内容、配布資料について説明します。 |
| ② 課題を整理する | 60分 | <p>持続可能な自治会運営には、まず各地域の課題整理が重要となります。</p> <p>それぞれの地域で重要と感じている課題、ご自身が経験した自治会活動に関する課題など、分野は問いません。</p> <p>それぞれの地域における課題を、資料2-2「南箕輪村持続可能な自治会検討委員会 課題の共有」の大項目、中項目を参考に話し合ってください。</p> <p>※資料2-2「南箕輪村持続可能な自治会検討委員会 課題の共有」で、各地区からすでに出されている内容と重複していてもかまいませんので、重要と感じている課題はぜひ取り上げてください。</p> <p>今回は、テーブルのファシリテータがメモを取りますので、ご自由に発言してください。</p> |
| ③ 重点課題を抽出する | 10分 | <p>次に、課題の重要度に順位をつけます。</p> <p>ご自身が、最も優先的に解決した方がよいと思われる課題を3つ選び、赤シールを模造紙に貼ってください。</p> <p>課題の見出しは、ファシリテータが緑で囲んだ項目となります。緑で囲った線の左側にシールを貼ってください。</p> <p>1位から5位までを順位付けしてください。</p> <p>グループごとに発表者を決めてください。</p> |
| ④ グループ発表 | 10分 | 本日の成果について、グループごとに発表します。5分以内で発表してください。 |
| ⑤ 閉会 | 計90分 | |

※このプログラムは進行に応じて変更することがあります

| 区名 | 大項目 | 組織・区民関係 | | | | | | | | | | 関心・人材の掘り起こし | |
|-----|-----|---|-----|----|-------|-----|--|-----------------------|------------------------------------|-------------------------------|--------|----------------------------|---|
| | | 役・役員 | 土木部 | 分館 | 安協女性部 | 社寺部 | 組の世帯数差 | 区外・組外対策 | 高齢者 | 組再編 | 加入金・区費 | | 組内関係性の希薄化 |
| 久保 | 問題点 | 世帯数差による役員の頻度不公平 | | | | | 世帯数に差あり | 係等、組内のつき合いを大変に感じ組外となる | | | | | 人材の掘り起こし |
| | 解決策 | | | | | | 組再編 | 普段の助け合い・絆の心 | | | | | 人材の確保 |
| 中込 | 問題点 | | | | | | | 組外対策 | | | | 県住入居者との関係性 駐車場や廃棄物置場の管理 | |
| | 解決策 | | | | | | | 粘り強く説得 | | | | 県との密な連絡 村の積極的関与 | |
| 塩ノ井 | 問題点 | | | | | | | | 高齢者のみの世帯 高齢者の一人暮らし 区からの脱退、転出 | | | | |
| | 解決策 | | | | | | | | 区民の手助け 組組織の再編検討 | | | | |
| 北殿 | 問題点 | | | | | | | 組外者の増加 | 古い組の高齢化 組の存続 | 組再編成 | | | |
| | 解決策 | | | | | | | | | 住民の合意の上実施 | | | |
| 南殿 | 問題点 | 区民を把握しきれてない 選出方法（現役推薦→立候補） 村の各種委員についても同様 | | | | | 新規住宅地造成による 世帯数増加 古い組の高齢化・跡継ぎなしによる世帯数減少 | | 古い組の高齢化・跡継ぎなし | 自主防災会（班）、区組織（組）の統合、再編、連携改善が必要 | | | 区政への関心 予算が伴い難しい |
| | 解決策 | 区民同士「お声かけ」機会増やす | | | | | | | | | | | 活動の活発化、事業拡大による 相互の関係を築く機会を設ける お互いの状態を把握する |
| 田畑 | 問題点 | 組世帯数の不均衡、高齢化による 役員選出が一部の人に負担が大きい 役員、組係の負担軽減 | | | | | 組世帯数の不均衡 古い組の世帯数減少 | 区直轄世帯の増加 | | | | | |
| | 解決策 | 役員選出方法の見直し | | | | | 組の再編 | 粘り強く組加入をお願い | | | | | |

南箕輪村持続可能な自治会検討委員会 課題の共有

| 区名 | 大項目 | 組織・区民関係 | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|--|---------------------|---|---------------------------------|----------------|--|---|--------------------|-------------------------|---|---|--------------------------------|
| | | 中項目 | 役・役員 | 土木部 | 分館 | 安協女性部 | 社寺部 | 組の世帯数差 | 区外・組外対策 | 高齢者 | 組再編 | 加入金・区費 | 組内関係性の希薄化 |
| 神子柴 | 問題点 | 世帯数差による役員頻度の不公平 役務・行事参加等の時間が生活に支障する | | | | | 世帯数に大差あり | 役場直轄区域の諸事対応困難 組加入の義務感がない | | | 経済的負担 | アパート住民が多く 区民としての連帯感乏しい 近隣住民の意識の希薄・無関心 | 村・区等の広報等が伝達できない 組織的な動きがとれない |
| | 解決策 | | | | | | | 各部会活動を通じ連帯感を養う 役場が転居者に加入説明・促進の強化 | | 関係する組の決定尊重 | 区への加入金負担の軽減 | 仲間作り支援 | |
| 沢尻 | 問題点 | 高齢化による役の偏り 村からの下請け業務が負担 | | | | | 一部組の急増 | 区外者対策 | 高齢一人世帯増加 | | | | |
| | 解決策 | 村からの下請け業務の軽減 村で事務方を置く | | | | | | | | | 入区費無料とした | | |
| 南原 | 問題点 | 役員の頻度に対する不公平 | | | | | | 組外対策 組外アパート住民の区・組加入 | | | 組の再編成 組の大小の差異による 組み回り | | |
| | 解決策 | | | | | | | 今後も多くなるアパート建設 建物所有者の協賛金等の積極参加 | | | 30世帯超が3組あり 40世帯超で分割する | | |
| 大芝 | 問題点 | 地区社協 設立度に区・PTA役員で対応している 区は組織化しない 入区者少なく役員がすぐ回ってくる | | | | | | 区新規加入者少ない 退区者増加 | | | | | |
| | 解決策 | 役員会及び総会での結果 役員会で検討（役割分担等） | | | | | | | | | | | |
| 大泉 | 問題点 | 役が続く：土木部長→会計→（2年空き）→区長代理→区長→財産区長 区長は財産区組合員でないといけない 等縛りが生じる 区長は区長代理歴任でないとい仕事内容が不明 区長は回り番では大変 区長は一般の仕事と兼任するのは困難 配布物は役が手分けして回る 財産区の区員の減少 役員選出の検討委員を立ち上げ検討し案を提出したが、反対意見があり通らなかった | 選出に難航 10年後になり手不足 | リストアップするも断られる 行事に関わるため仕事大変 回り番は難しい 3人の為負担大 | 交通部と別 街頭指導 交通部だけでよいのではないか | 役員数3名 選出が大変 | 組世帯数差拡大による組の再編成等 再編成の声もあるが意見まとまらない 40軒ある組と7軒しかない組がある | 組非加入者の夫役等 未加入者もゴミは出せるので入区のメリットを感じない 組加入者は立番や川の作業等がある為負担増 先住者が移住者を入れたがらない | 高齢者世帯の増加 夫役できない | 少数の組どうしを一緒にしたいが年長者は反対する | 組非加入者と組加入者で夫役差があるのに区費が同額なのが不公平感あり 経済的に負担 区費に不満があり入区しない家もある 入組費、組費を取っている組もある 区費3万円 施設の修繕費の為に貯金必要か？ | | |
| | 解決策 | 衛生／交通／健康／防犯／赤十字 区長・区長代理から知人に頼む選出方法を改め、15組の代表集会で、役決めを行った。 回り番で決めている区もある | | | 15組を3つに分け、組の回り番で3名選出 | | | 組長を通じ移住者を受け入れてもらえるよう伝えた | | | | | |
| 北原 | 問題点 | 区民数が少なくほぼ全員役。負担大きい | | | | | | | | | 入区費8万高い | | |
| | 解決策 | | | | | | | | | | 年間区費1万安い | | |

南箕輪村持続可

| 区名 | 大項目 | 地域インフラ | | | | | | | 地域認識と防災 | | | その他 |
|-----|-----|---------------|--------------------------|-----------|---|-------|---|--------------------------|---------------|-------------------------|-------------------------|----------|
| | | 中項目 | 道路 | 老朽化・空家・廃屋 | 荒廃農地 | 河川・水路 | 山の整備・下草刈り | ゴミ処理 | その他 | 区民認識 | 防災計画・防犯 | 消防団組織 |
| 久保 | 問題点 | 緊急車両が通れない地域あり | 防犯上の懸念、家屋の倒壊 肥料・農薬の流出 | 荒廃農地の増大 | 河川改修 水路・排水路容量不足 | | | | 境地域が区内である認識不足 | 自主防災組織 防犯計画の策定 | | |
| | 解決策 | | 公共の手を入れる | 農地集約化 | 水系見直し 流水量アップ改修 | | | | | | | |
| 中込 | 問題点 | | 空家の除草 垣根の除去 | | 側溝水の地域への流入 設備の老朽化 雨水、枯葉等流れ込み、詰まりの対応 一斉清掃、清掃委託もしているが苦慮 設備の取替を村で対応いただけないか 下水道への雨水の流入を認可してほしい | | | | | | 組織の弱体化 団員不足 | |
| | 解決策 | | | | | | | | | | 自主防災組織の 充実 組織の再編化 | |
| 塩ノ井 | 問題点 | | | | | | | | | | | |
| | 解決策 | | | | | | | | | | | |
| 北殿 | 問題点 | | | | 黒川増水 雨水流入で危険 | | | 松林寺・北殿神社の業務 宗教分離の意見あり | 区境界が不明確 | 天竜川危険水位による避難 | | 江戸ヒガン桜維持 |
| | 解決策 | | | | 普通河川に編入 村での管理改修 | | | 区からの補助金 特別会計の検討 | 境界マップ作成 | 水防避難訓練の実施 当局へ堤防改善の要望 | | 保守団体立ち上げ |
| 南殿 | 問題点 | | | | | | | | | | | |
| | 解決策 | | | | | | | | | | | |
| 田畑 | 問題点 | | | | | | ゴミステーションの無規則利用 役員の負担増 | | | | | |
| | 解決策 | | | | | | 地域サポーター他への業務委託 未加入世帯は村・区の指定場所 を利用 | | | | | |

南箕輪村持続可

| 区名 | 大項目 | 地域インフラ | | | | | | | 地域認識と防災 | | | その他 |
|-----|-----|----------------------------|--------------------------------|-----------|---|--------------------|--|------------------------------------|---------------------------|------------------------------|------------------|----------------------------|
| | | 中項目 | 道路 | 老朽化・空家・廃屋 | 荒廃農地 | 河川・水路 | 山の整備・下草刈り | ゴミ処理 | その他 | 区民認識 | 防災計画・防犯 | 消防団組織 |
| 神子柴 | 問題点 | 道路沿いの樹木への対応が大変 | | | | | ゴミステーションの無規則利用 役員の負担増 | | 協力的意識の変遷 移住者と先住者の認識のズレ | 地域防災意識の希薄 | | 上段・中段・川原 3地区それぞれ対応の必要あり |
| | 解決策 | | | | | | 未加入世帯は村・区の指定場所を利用 | | | | | 役員など3地区から 各々選出している |
| 沢尻 | 問題点 | | | | | | ゴミ処理問題 山林原野への不法投棄 地区住民の2/3がアパートで衛生係負担 | 児童公園の維持 (個人所有を借用) | | | | |
| | 解決策 | | | | | | 行政側の指導 アパートごとにゴミ集積所を設ける等 | | | | | |
| 南原 | 問題点 | | 空家の増加、環境悪化 | | | | | | | 自主防災会の発展的 推進 区組織との連携強化 | | |
| | 解決策 | | 空家データベースの 検討 所有者との連携確保 | | | | | | | 自主防災会と区組織 との統合 | | |
| 大芝 | 問題点 | | | | | | 不法投棄 | | | | | |
| | 解決策 | | | | | | 区や行政による継続的指導 | | | | | |
| 大泉 | 問題点 | 生活道路で通勤迂回路としてスピードを出す車がいて危険 | 空家の増加 アメシロの発生、生垣の対応等、区役の負担増 | 耕作放棄地の増加 | 【ゴカイ組】 水路の管理 年間100日以上管理に出向く 大雨により氾濫した場合は時間関係なく対応 組加入者は川作業あり負担 | 【サンカ】 山の整備・下草刈り | 未加入者もゴミは出せるので入 区のメリットを感じない 衛生部長・副部長の負担大(年間100日程) | 神社の修繕 宗教的な問題に区費を 充ててよいか問題になる | | 高齢者が組役ができないと退会するが、 防災面で不安 | 消防団員が増えない | |
| | 解決策 | | | | | | ゴミ収集日の立ち合い区民可とした | | | 高齢者は作業免除 | 消防団員は区役を免除する配慮あり | |
| 北原 | 問題点 | 村道9号線の交通量と速度 通学時に危険 | | | | | ゴミ処理問題 | | | | | |
| | 解決策 | 区内企業への協力願 い | | | | | 衛生部中心に対応 | | | | | |

持続可能な自治会検討委員会 今後の開催予定及び目的・テーマ案

【令和5年度 成果目標】

行政協力業務を中心とした自治会業務見直しに関する方針（案）の作成

【令和5年度 開催予定及び目的・テーマ案】

| 回 | 日程（予定） | 目的・テーマ案 |
|-----|-----------|-------------------------------|
| 第1回 | 10月30日(月) | ○基本情報の共有 ○自治会における重要課題の抽出 |
| 第2回 | 11月22日(水) | ○各区の課題共有 ○行政協力業務課題解決事例 |
| 第3回 | 12月14日(木) | ○行政協力業務をまとめる |
| 第4回 | 1月17日(水) | ○他団体依頼業務・自治会運営業務役割整理 ○課題抽出 |
| 第5回 | 2月14日(水) | ○他団体依頼業務・自治会運営業務課題解決策の提案 |

※会議は午後7時から2時間程度